

米国の天文学者クライド・トンボーが太陽系の外縁を回る新たな星を見つけ、それにローマ神話の冥界の神プルートの名がつけられた1930年に、ウォルト・ディズニーは、発見された9番目の新惑星にちなんでミッキーマウスの愛犬をプルートと名付けた。

去る7月半ば、50億キロという時空を旅したNASAの無人探査機「ニューホライズンズ」が、冥王星に約1万2500キロまで接近し、そこから送信された茶色っぽい荒涼とした地表面の画像に思わず息を呑んだ。しかし同探査機が打ち上げられた2006年に、国際天文学連合総会は、長らく惑星だった冥王星の準惑星への降格を決定したというから皮肉である。

望遠鏡の劇的な技術の進歩により、21世紀に入ってから多くの太陽系外縁天体が発見され、その中に冥王星の大きさに匹敵するものがあったのがその理由だが、冥王星が米国人の発見した唯一の惑星であることなどから、米国の学者らは強硬に反対し、カリフォルニア工科大学などではデモまで行なわれたが、決定はくつがえらず多くのアメリカ人が落胆した。科学技術の進歩によりこれからますます同様の混乱が起こるものと言えよう。

世界最古の本である聖書には、

「天と地との諸法則」エレミヤ書 33 章 25 節、

を神が定めたとあるように、

「地球が丸いこと」イザヤ書 40 章 22 節:英訳、

など、天体物理学に関する記述が少なくない。ガリレオやケプラー、ニュートンなど16世紀頃の著名天文学者らがクリスチャンであることもうなずける。サイエンスとは知識の意味だが、残念ながら人の知識は冥王星のように不明瞭でかつ少しずつしか分からない。全宇宙の創造主である神を初めから信じていれば、後になってもめることも少なくなる。

